

関東ESD推進ネットワーク 第4回地域フォーラム



関東地方ESD活動支援センター（関東ESDセンター）

令和3年1月24日

持続可能な開発目標（SDGs）



SDGsは、

- ・2015年9月の国連総会にて、全加盟国の賛同により採択され、2016年1月1日に正式に発効
- ・2030年を達成期限とする

17のゴール

169のターゲット

約230の指標

- ・先進国、途上国すべての国を対象とする普遍的な目標



貧困をなくす

あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。



飢餓をなくす

飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。



健康と福祉

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。



質の高い教育

すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。



ジェンダー平等

ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。



水と衛生

すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。



誰もが使えるクリーンエネルギー

すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。



ディーセントワークと経済成長

包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する。



産業・技術革新・社会基盤

強靭なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。



格差の是正

各国内及び各国間の不平等を是正する。



持続可能なまちづくり

包摂的で安全かつ強靭で持続可能な都市及び人間居住を実現する。



持続可能な消費と生産

持続可能な生産消費形態を確保する。



気候変動へのアクション

気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。



海洋資源

持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。



陸上資源

陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。



平和、正義、有効な制度

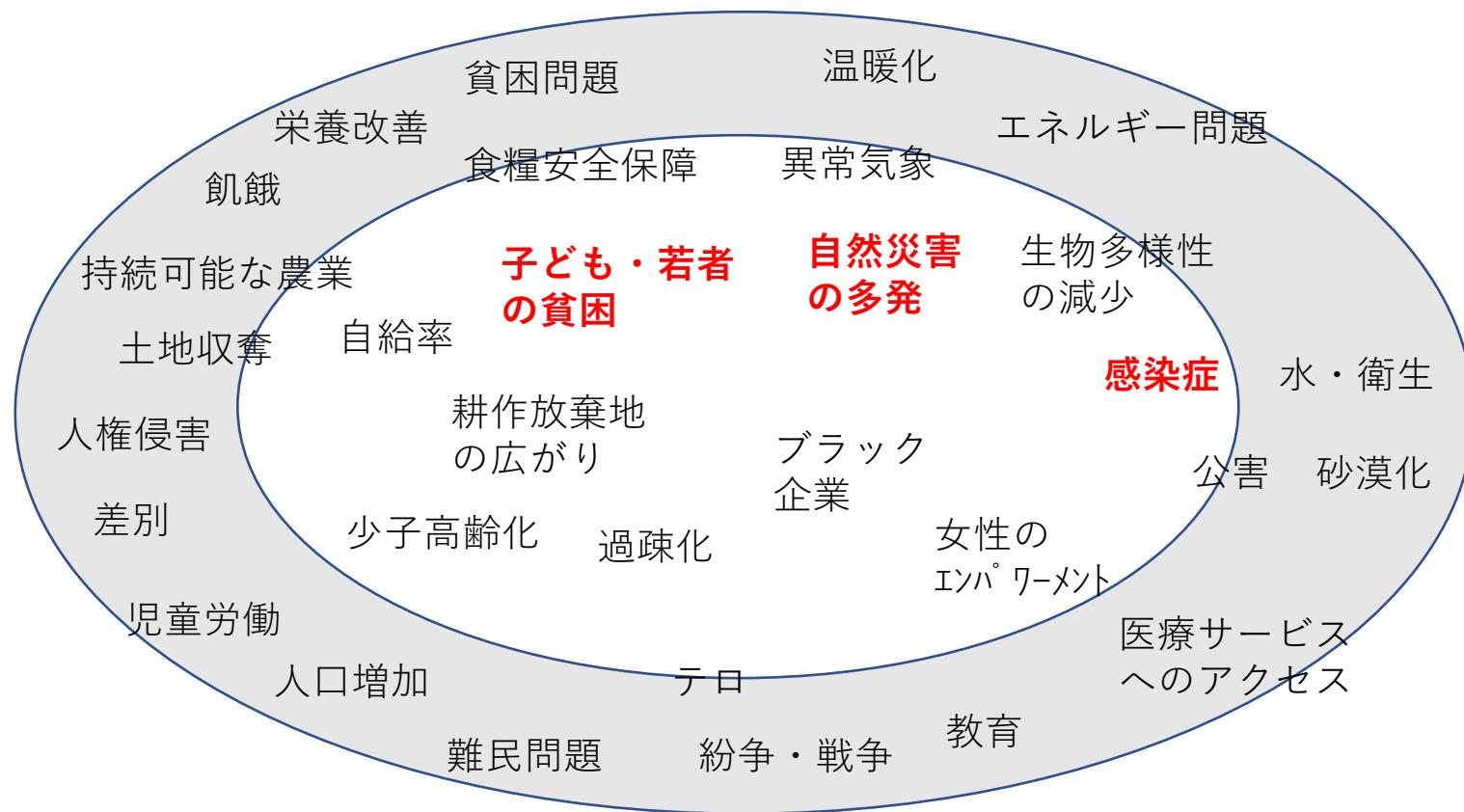
持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的に説明責任のある包摂的な制度を構築する。



目標達成に向けたパートナーシップ

持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

地球規模課題の深刻化



CSOネットワーク事務局長・理事 黒田かおり氏作成 参考：「新CSR検定3級」オルタナ他

地球規模課題の深刻化



CSOネットワーク事務局長・理事
黒田かおり氏作成
参考：「新CSR検定3級」オルタナ他

SDGsがつくられたプロセス



持続可能な開発のための2030アジェンダ

我々の世界を変革する：
持続可能な開発のための
2030アジェンダ

前文

宣言

SDGsとターゲット

実施手段とグローバルパートナーシップ

フォローアップとレビュー

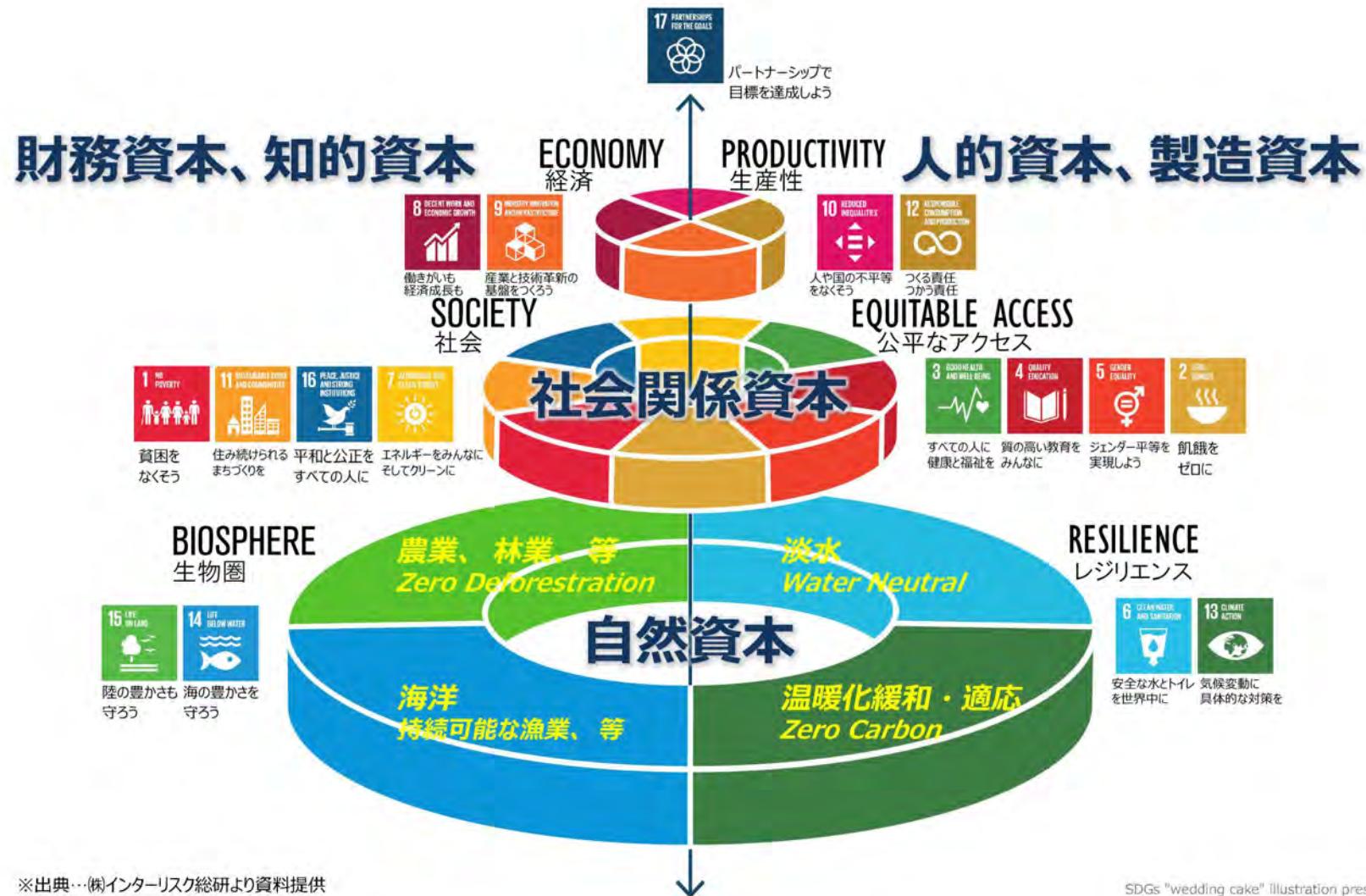
誰一人取り残さない

5つのP



SDGsのポイント

1. 普遍性：先進国を含め、全ての国が行動
2. 包摂性：誰一人取り残さない
3. 参画性：全てのステークホルダーが役割を
4. 統合性：経済・社会・環境に統合的に取り組む
5. 透明性：定期的にフォローアップ



2015年に世界で起こったこと

9月 国連総会において、持続可能な開発のための
2030アジェンダ（SDGs含む）採択

= **Transforming our world**

9月 年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）が
国連責任投資原則に署名 = **ESG投資**

12月 国連気候変動枠組条約第21回締約国会議
(UNFCCC-COP21)において、パリ協定採択

= **化石燃料文明をやめ、新文明を作る**

菅首相「温室ガス2050年ゼロ」「産業・社会に変革」 初の所信表明

会員記事

2020年10月27日 5時00分



所信表明演説を行う菅義偉首相=26日午後2時24分、藤原伸雄撮影

第203回臨時国会が26日召集され、菅義偉首相は就任後初めての所信表明演説を行った。温室効果ガスの排出量を2050年までに実質ゼロにする目標を新たに打ち出した。「行政の縦割りの打破」など改革姿勢を強調し、9月の自民党総裁選で公約したデジタル庁の創設や不妊治療支援、携帯電話料金引き下げの実現に意欲を示した。▼2面=政策列挙、3面=ようやく日本も、4面=「ご飯論法」指摘した識者の見方、5面=所信表明全文、9面=排出する業界は、14面=社説

「50年実質ゼロ」自治体、支援強化へ 菅政権方針

水戸部六美 2020年10月27日 15時00分



ゼロカーボンシティが100自治体に達したときに、閣議後会見で報告した小泉進次郎環境相=2020年6月19日、環境省、水戸部六美撮影

きている自治体は少ない。

政府は2050年までの二酸化炭素(CO₂)排出実質ゼロをめざす自治体「ゼロカーボンシティ」をより強力に推進していく方針だ。これまで環境省が旗振り役だったが、今後は政府一体となって後押しする。国と地方で協議する新たな場も設ける。

ゼロカーボンシティは昨年9月時点では山梨県、京都市、東京都、横浜市の4自治体のみだったが、10月26日時点で、計166自治体まで増えている。ゼロカーボンシティを表明する自治体の総人口は約7883万人と、日本の人口の半数を超えている。ただし、50年実質ゼロをどう実現するか、具体策まで検討で

2050年 二酸化炭素排出実質ゼロ表明 自治体



■ 東京都・京都市・横浜市を始めとする209自治体（28都道府県、119市、2特別区、49町、11村）が「2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ」を表明。表明自治体人口約9,046万人※、GDP約410兆円。

※表明自治体人口（各地方公共団体の人口合計）では、都道府県と市区町村の重複を除外して計算しています。

(2021年1月22日時点)

表明都道府県 (7,670万人)



表明市区町村 (3,703万人)

北海道	山形県	栃木県	茨城県	千葉県	富山県	岐阜県	兵庫県	佐賀県
札幌市	山形市	鹿沼市	水戸市	千葉市	魚津市	大垣市	神戸市	佐賀市
石狩市	米沢市	大田原市	土浦市	成田市	南砺市	静岡市	明石市	武雄市
ニセコ町	東根市	那須塩原市	古河市	八千代市	立山町	静岡市	奈良県	熊本県
古平町	南陽市	那須烏山市	結城市	山武市	石川県	浜松市	生駒市	熊本市
岩手県	朝日町	那須町	下妻市	野田市	金沢市	富士宮市	和歌山県	菊池市
久慈市	高畠町	郡山町	常総市	我孫子市	加賀市	御殿場市	那覇勝浦町	宇土市
二戸市	川西町	群馬県	高萩市	浦安市	山梨県	牧之原市	鳥取県	宇城市
葛巻町	飯豊町	太田市	北茨城市	四街道市	南アルプス市	愛知県	北栄町	阿蘇市
普代村	庄内町	館林市	取手市	東京都	北杜市	岡崎市	南部町	合志市
軽米町	福島県	藤岡市	牛久市	世田谷区	甲斐市	半田市	島根県	美里町
野田村	郡山市	神流町	鹿嶋市	葛飾区	笛吹市	豊田市	松江市	玉東町
九戸村	大熊町	嬬恋村	潮来市	多摩市	上野原市	大府市	岡山県	大津町
洋野町	浪江町	みなかみ町	守谷市	神奈川県	中央市	みよし市	真庭市	菊陽町
一戸町	大泉町	常陸大宮市	横浜市	市川三郷町	三重県	広島市	高森町	高森町
八幡平市	宮古市	那珂市	川崎市	富士川町	志摩市	広島市	西原村	西原村
			筑西市	相模原市	昭和町	南伊勢町	尾道市	南阿蘇村
			坂東市	鎌倉市	長野県	滋賀県	香川県	御船町
			桜川市	小田原市	小諸市	湖南市	高松市	嘉島町
			つくばみらい市	三浦市	佐久市	京都府	善通寺市	益城町
			小美玉市	開成町	東御市	京都市	愛媛県	甲佐町
			茨城町	新潟市	松本市	宮津市	松山市	山都町
			城里町	柏崎市	軽井沢町	京丹後市	福岡県	宮崎県
			東海村	池田町	大山崎町	北九州市	串間市	
			五霞町	佐渡市	立科町	与謝野町	福岡市	鹿児島県
			境町	真鍋浦村	白馬村	大阪府	大木町	鹿児島市
			埼玉県	妙高市	小谷村	大阪市	長崎県	知名町
			さいたま市	十日町市	南箕輪村	枚方市	平戸市	沖縄県
			秩父市			東大阪市	五島市	久米島町
			所沢市			泉大津市		

自治体人口・数の推移 9,046万人



*朱書きは表明都道府県、その他の色書きはそれぞれ共同表明団体

「3つの移行」による経済社会のリデザイン（再設計）

＜ウィズコロナ・ポストコロナの時代＞

「3つの移行」で経済社会をリデザイン（再設計）

⇒地域循環共生圏（ローカルSDGs）の創造

脱炭素社会

- ゼロカーボンシティ再エネ強化支援パッケージ
- 「新たな日常」の脱炭素化
- 脱炭素イノベーション加速化

循環経済

- プラスチック資源循環戦略の具体化
- 持続可能な廃棄物処理体制構築
- レジリエントな廃棄物処理

分散型社会

- 「気候変動x防災」「適応復興」によるレジリエント化
- 国立公園の抜本強化
- 新たな里地里山里海の創造

移行を支える取組

ESG金融・ナッジ等を活用した社会変革

- ESG金融、インパクトファイナンス
- ナッジ
- 脱炭素経営、スタートアップ支援

環境外交の強化

- COP26、COP15に向けた外交強化
- 大阪ブルーオーシャンビジョン拡大・深化
- 脱炭素化原則に基づく環境インフラ輸出

基盤となる健康と環境を守る取組

- 人獣共通感染症対策
- 石綿、PCB、水俣、動物愛護管理

東日本大震災からの復興・創生と未来志向の取組

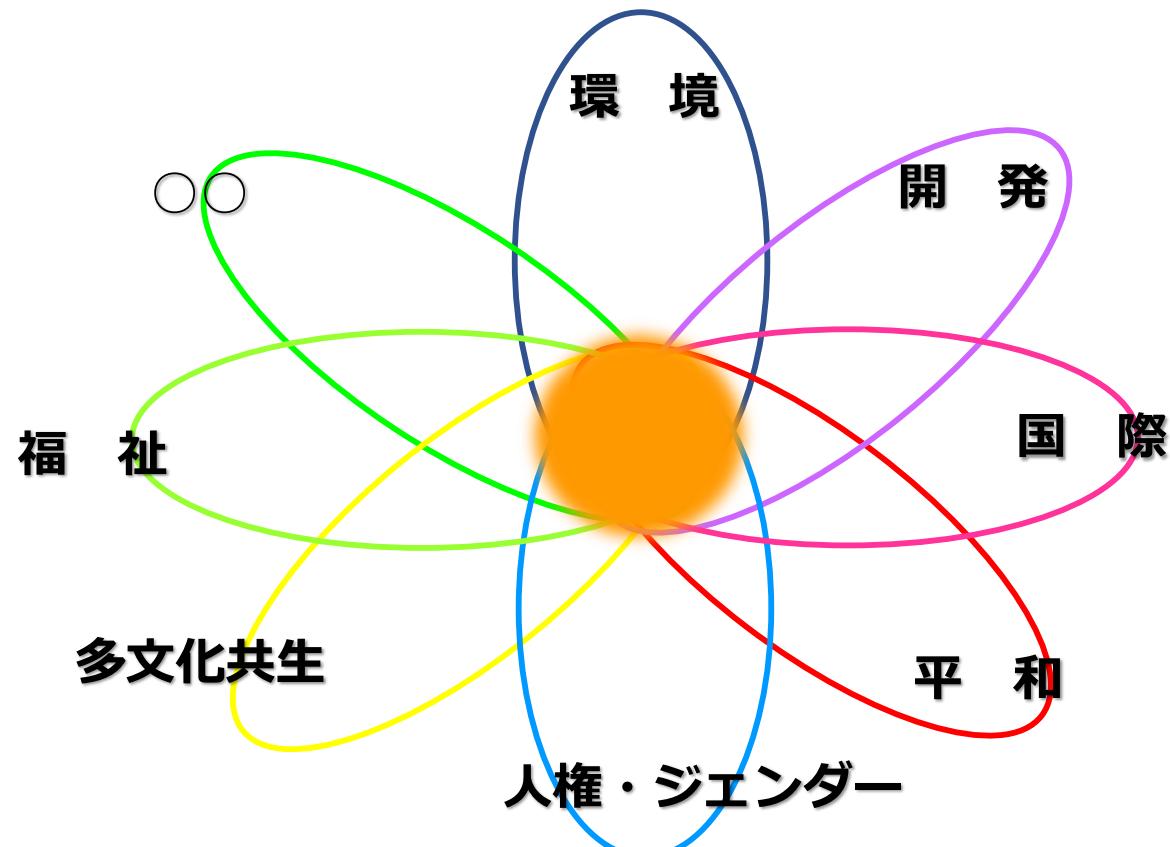
- 福島の環境再生に向けた取組の着実な実施
- 未来志向の環境施策推進による復興加速
—希望ある未来へのリデザイン—

Education for～のための教育 **S**ustainable **D**evelopment ~持続可能な ~開発・発展

持続可能な開発のための教育

「持続可能な開発のための教育(ESD)」は、**人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう**、気候変動、生物多様性の喪失、資源の枯渇、貧困の拡大等、人類の開発活動に起因する現代社会における様々な問題を、**各人が自らの問題として主体的に捉え**、**身近なところから取り組むことで**、**それらの問題の解決につながる新たな価値観や行動等の変容**をもたらし、もって持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動である。【ESD国内実施計画より】

○○教育の接点 = ESD



「SDGs」と「ESD」

- 教育はSDGsの目標4に位置付けられており、ESDは目標4の中のターゲット4.7に記載されています。しかし、教育については、「教育が全てのSDGsの基礎」であり、「全てのSDGsが教育に期待」している、とも言われています。特に、ESDは持続可能な社会の担い手づくりを通じて、17全ての目標の達成に貢献するものです。ですから、ESDをより一層推進することが、SDGsの達成に直接・間接につながっています。また、SDGsを、ESDで目指す目標が国際的に整理されたものとして捉えることもできます。



持続可能な開発のための教育（ESD）の更なる推進に向けて
～学校等でESDを実践されている皆様へのメッセージ～
文部科学省 日本ユネスコ国内委員会教育小委員会

ESDの新しい国際推進枠組み：ESD for 2030



<経緯>



持続可能な開発のための教育（ESD）：SDGs実現に向けて（ESD for 2030）（2020年～2030年）

- 目標：ESDの強化とSDGsの17の全ての目標実現への貢献を通じて、より公正で持続可能な世界の構築を目指す。
- 特徴：
 - ①SDGsの17全ての目標実現に向けた教育の役割を強調
 - ②持続可能な開発に向けた大きな変革への重点化
 - ③ユネスコ加盟国によるリーダーシップへの重点化
- 優先行動分野：GAPの優先行動分野は維持しつつ、これまでの教訓を踏まえて一部調整。
- 実施へのメカニズム：
 - ①国レベルでのESD for 2030の実施（国内イニシアチブの設定）※
 - ②パートナーシップ及び協働の効果的活用
 - ③行動に向けた普及活動
 - ④新たな課題や傾向の追跡
 - ⑤財政資源の動員
 - ⑥進歩モニタリング

※5つの優先行動分野のうち1つ以上に取り組むこと、5つの優先行動分野で活動する主要なステークホルダー等との多分野間に渡る提携と協力を促進すること、SDGsに関する広報・アドボカシー活動を強化すること 等。

⇒各優先行動分野については維持しつつ、

- 目標としてSDGs全ての目標達成への貢献が明記

- 実施に向けたメカニズムについて、ESDの国内イニシアチブ（国内実施計画）の設定、ステークホルダー間のパートナーシップの促進や普及・啓発活動の実施に言及等が主なポイント。

新学習指導要領

■ 前文（幼・小・中）

これからの学校（幼稚園）には、・・・一人一人の生徒（幼児・児童）
が、・・・自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値ある
存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、
豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにな
る・・・ことが求められる。このために必要な教育の在り方を具体化するのが、
各学校（幼稚園）において教育の内容等を組織的かつ計画的に組み立てた教育
課程である。

平成29年3月31日公示 新学習指導要領

「生きる力」を育むために

子供たちの学びはどう進化するの？

主体的・対話的で深い学び

(アクティブラーニング)



一つ一つの知識がつながり、「わかった！」「おもしろい！」と思える授業に

見通しをもって、粘り強く取り組む力が身に付く授業に



周りの人たちと共に考え、学び、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業に

自分の学びを振り返り、次の学びや生活に生かす力を育む授業に

カリキュラム・マネジメント

を確立して教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図ります。



学校教育の効果を常に検証して改善する

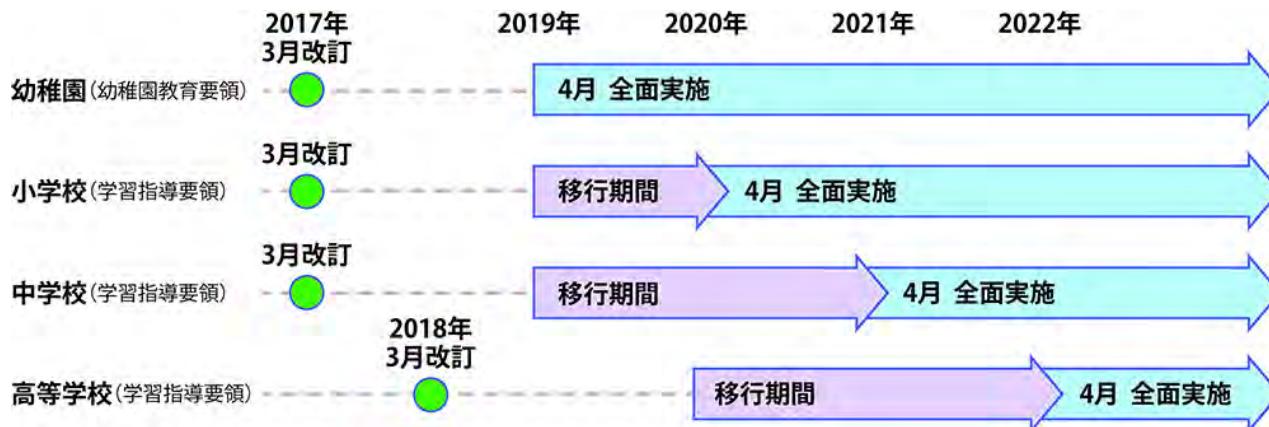


教師が連携し、複数の教科等の連携を図りながら授業をつくる



地域と連携し、よりよい学校教育を目指す

社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、
三つの力をバランスよく育みます。



学んだことを人生や社会に生かそうとする

学びに向かう力、人間性など



実際の社会や生活で生きて働く
知識及び技能
思考力、判断力、表現力など

関東ESD推進ネットワーク 第4回地域フォーラム

ESD活動支援センターの活動

ESD推進ネットワークは

ESDの広がりと深まりを通じて
地域の諸課題の解決と教育の質の向上、
SDGs達成に向けた意識・行動変革を進めます。

持続可能な社会を目指して



持続可能な開発目標(SDGs)

地域ESD活動推進拠点(地域ESD拠点)

地域におけるESD活動の支援窓口として、地方センター他の地域ESD拠点と連携して、ESD活動を支援したり、これからESDを始めようとする活動主体に働きかけます。

地域コミュニティや学校区、市区町村、都道府県、広域ブロックなど様々な活動範囲を持つ組織・団体(教育関係、学術研究関係、メディア、企業、地方自治体、行政、その他)が、地域ESD拠点となり、得意分野を活かした支援やコーディネート、学び合いの場づくりを行います。

学校、地域、職場などで ESDに取り組んでいる多様な実践主体 (ESD活動の現場)

ESDに取り組もうとしている 多様な主体(潜在的な活動主体)



地方ESD活動支援センター(地方センター)
全国センター、地方自治体、地域ESD拠点等との連携のもとに、主に以下の機能を果たすことで、ESD推進ネットワークの広域的なハブ機能を果たします。

1. ESD活動を支援する情報共有機能
2. 現場のニーズを反映したESD活動の支援機能
3. ESD活動のネットワーク形成機能
4. 人材育成機能、等

ESD推進に取り組む
組織・団体と
協力・連携します。

地方ESD活動支援センター

地方ESD活動支援センター(地方センター)

全国センターや地方自治体、地域ESD拠点等との連携のもとに、主に以下の機能を果たすことで、ESD推進ネットワークの広域的なハブ機能を果たします。

1. ESD活動を支援する情報共有機能
2. 現場のニーズを反映したESD活動の支援機能
3. ESD活動のネットワーク形成機能
4. 人材育成機能、等

北海道地方ESD活動支援センター

〒060-0042
北海道札幌市中央区大通西5-11
大五ビル7階
TEL 011-596-0921

北海道

東北地方ESD活動支援センター

〒980-0014
宮城県仙台市青葉区本町3-2-23
仙台第2合同庁舎1階
TEL 022-393-9615

関東地方ESD活動支援センター

〒150-0001
東京都渋谷区神宮前5-53-67
コスモス青山地下1階
TEL 03-6427-7975

中部地方ESD活動支援センター

〒460-0003
愛知県名古屋市中区錦2-4-3
錦パークビル4階
TEL 052-218-9073

中国地方ESD活動支援センター

〒730-0011
広島県広島市中区基町11-10
合人社広島紙屋町ビル5階
TEL 082-555-2278

九州地方ESD活動支援センター

〒860-0806
熊本県熊本市中央区花畠町4-18
熊本市国際交流会館2階
TEL 096-223-7422

近畿地方ESD活動支援センター

〒540-6591
大阪府大阪市中央区大手前1-7-31
OMM5階
TEL 06-6948-5866

鳥取

島根

岡山

広島

山口

福岡

佐賀

長崎

熊本

大分

宮崎

鹿児島

沖縄

四国地方ESD活動支援センター

〒760-0023
香川県高松市寿町2-1-1
高松第一生命ビル新館3階
TEL 087-823-7181

関東地方ESD活動支援センター

名 称：関東地方ESD活動支援センター

略 称：関東ESDセンター

英語名：ESD Resource Center of Kanto, Japan

開設日：平成29年7月3日（月）

【関東ESDセンターの役割】

- ① ESD活動を支援する**情報共有機能**
- ② 現場のニーズを反映した**ESD活動の支援機能**
- ③ ESD活動の**ネットワークの形成機能**
- ④ 人材育成機能

① ESD活動を支援する情報共有機能

<http://kanto.esdcenter.jp/>

ホームページでは、関東地域で開催されるESD/SDGs関連の情報を中心に、各地で開催された行事を取り材したレポートや、当センター主催の勉強会、ESDに関する地域の活動拠点などについて、情報提供をしています。

The screenshot shows the homepage of the Kanto ESD Activity Support Center. At the top, there's a banner with a photo of a group of people at a conference table. Below the banner, there are several sections with event details:

- コースと進めるSDGs**: 2021年1月26日開催 関東ESD連携ネットワーク 第3回地域フォーラム 「SDGs-ESDで共創の未来」
- 関東ESDセンターからのお知らせ**: 2021年1月04 SDGs関連イベント紹介 センターカフェ「コースとESD」開催・初回開催 「コースと進めるSDGs」開催のご案内
○日時：令和3年1月24日(日)13:00 - 17:00
○場所：オンライン（zoom）
○会場：オンライン（zoom）
- セミナー研究会等案内**: 2021年1月04 SDGs関連イベント紹介 コースとESD 開催・初回開催 第3回全国コース環境活動発表大会
○日程：令和3年1月22日（金）～1月29日（金）
○方法：オンライン
○会場：全国コース環境活動発表大会 実行委員会（環境省ほか）
- 最新情報一覧**: 2021年1月22 イベント紹介「コースとESD」開催・初回開催 第3回全国コース環境活動発表大会
○日時：令和3年2月15日（日）19:00 - 21:00
○参加方法：オンラインツール・zoom
○会場：環境省が開催するミーティング実行委員会
2021年1月22 SDGs関連イベント紹介
第13回「つなぐ人々」フォーラム
-コロナ時代「つなぐ人々」を考える実験場-
○日時：令和3年2月20日（土）10:00 - 18:30（休憩含む等あり）
○会場：Zoom（オンライン開催）
○参加費：3,000円 -
- コンクールコンテスト**: 2021年1月22 SDGs関連イベント紹介 コンクールコンテスト募集「コースとESD」開催
○対象：環境活動を行っている全国の学生団体
○賞品：賞金50,000円、10,000円、5,000円



毎月第1木曜日にメールマガジンを発行しています。
関東地方のESDに関するイベント、セミナー、補助金・助成金募集などの情報を集めてお送りしています。ESDにご関心のある方は、是非ご利用下さい。



Facebookでも、日々の活動など情報発信中！ いいね！をお願いします。

【イベント・ニュース】



2021.01.18 SDGs関連 イベント紹介

シンポジウム「ポストコロナ社会を生き抜く地域の知恵と持続可能性－新たな地域循環共生圏（ローカルSDGs）の創造－」

○日時：令和3年2月16日（火）14:30～17:30

○場所：オンライン開催

○主催：環境省 ほか



2021.01.18 SDGs関連 イベント紹介

RE-Usersサミット2021

○日時：令和3年2月3日（水）13時～16時

○方法：オンライン配信（Zoom）

○主催：（公財）自然エネルギー財団



2021.01.18 SDGs関連 イベント紹介 ユース向け 教員・指導者向け

脱炭素チャレンジカップ2021

○日時：令和3年2月9日(火)

○方法：オンラインでの開催

○主催：脱炭素チャレンジカップ実行委員会



2021.01.18 SDGs関連 イベント紹介

中小企業におけるサステナブル経営と地域活性化について

○日時：令和3年2月17日（水）17:00～19:00

○方法：ZOOMによるオンライン開催

○主催：（一財）CSOネットワーク



2021.01.18 イベント紹介 ユース向け 教員・指導者向け

国際バカロレア教育推進コンソーシアム地域セミナーin北関東

○日時：令和3年1月24日（日）13:30～15:00

○会場：オンライン開催（Zoom）

○対象：IB教育に関心のある教育関係者、生徒、保護者等（先着50名）

○主催：文部科学省IB教育推進コンソーシアム事務局

【イベント・レポート】

2020.12.09 ESD/SDGsニュース ESD関連ニュース イベント紹介レポート

【参加レポート】～SDGs～今私たちにできることは？市民目線でSDGsを考える



タイトル SDGs～私たちにできることは？市民目線でSDGsを考える

日時 令和2年12月2日（木）10:00～12:00

主催・会場 ハートフル・ポート（神奈川県横浜市旭区）

参加者 15名

【概要】

横浜市旭区にある「ハートフル・ポート」は、店主の五味真紀さんが自宅を改装して、2014年にオープンしたコミュニティ・カフェだ。私設浴場の往生街にあり、平日3日間、昼間のみ営業している。ウクレレ教室や唱歌歌謡、英会話、ワークショップなど、様々な行事を頻繁に開催しており、地域の人の憩いの場であるとともに、学びの場にもなっている。

今回、市民に向かたSDGsについて学ぶ場として、「SDGs～私たちにできることは？市民目線でSDGsを考える」と題されたイベントが開催され、その様子をレポートする。

【実施内容】

SDGsに関するセミナー等は、企業、行政、学校などで開催される事が多いため、このイベントは地域に密着したコミュニティ・カフェで、主に地域の一般市民に向けて開催されたものだ。

参加者は、リユースショップを運営するNPOのスタッフ、旭区の地域活動に取り組まれている方、区役所のPR担当者の方など15名。

まず講演として、SDGsターゲットファインダー（後述）の日本語版を開発した株式会社ワンブリネットカフェ代表取締役社長のエクリエイティブディレクターの藤原千尋氏より、SDGsについてのレクチャーがあった。



地方ESD活動支援センター
for Sustainable Development

② 現場のニーズを反映したESD活動の支援機能



2030年の未来は、
大人には任せておけない！

中・高生なら誰でも参加できる

SDGs文化祭

【SDGs文化祭：全体スケジュール】

キックオフ	6/28（日）	オンライン	問題意識や興味がある分野の共有を行います
2nd session	8/8（土） 13:00～18:00	オンライン	市民や大学生との対話を通じ、SDGsの課題とその解決方法をブラッシュアップする
3rd session	8/30（日） 13:00-15:00	オンライン	中高生がそれぞれ課題解決のアイデアを持ち寄り、文化祭に向けたチームを作りSDGsプロジェクトを固めていく
中間発表	10/4（日） 13:00-15:00	オンライン	それぞれのチームより途中経過を発表し、互いの学び合いの場とします。
SDGs文化祭	11/15（日）	オンライン	取り組んだことを広く社会に発表し、社会からの反応をみる事で、リアルな学びにつなげます。

本企画は、SDGsに興味のある生徒を集め、協働しての実践・発表の場を設けるものです。SDGsに興味があっても周囲に仲間がない生徒や、関心があっても学ぶ機会が与えられていない生徒に、積極的にSDGsに関わる場所を提供していきます。

③ ESD活動のネットワークの形成機能

地域ESD活動推進拠点（地域ESD拠点）登録制度

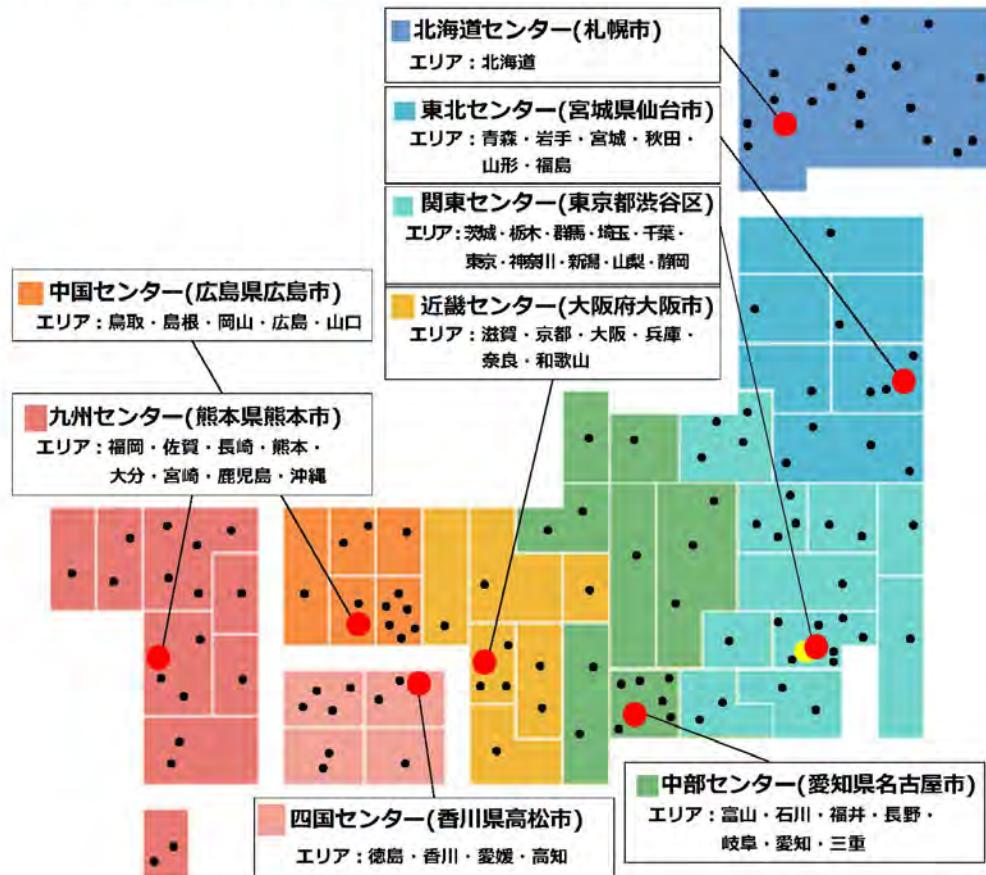
学校現場・社会教育の現場では、さまざまな主体が地域や社会の課題解決に関する学びや活動に取り組んでいます。

こうした現場のESDを支援・推進する役割を担う組織・団体を「ESD推進ネットワーク」における「地域ESD活動推進拠点」（地域ESD拠点）として登録することができます。

ESD推進ネットワークの広がり



- 全国センター(東京都)
- 地方ESD活動支援センター(地方8か所)
- 地域ESD拠点: 136地点(2020年12月現在)



<地域ESD拠点の種別(125地点)>



<地域ESD拠点の例>

- 教育関係機関・ネットワーク (20拠点)
 - ユネスコスクール、教育委員会、社会教育施設、環境教育施設 等
- 学術・研究機関・ネットワーク (8拠点)
 - 大学 等
- 地方自治体・行政・ネットワーク (5拠点)
 - 勝山市、鹿島市建設環境部ラムサール条約推進室 等
- 公益法人 (26拠点)
 - 公益財団法人キープ協会、公益財団法人肥後の水とみどりの愛護基金 等
- NGO/NPO (44拠点)
 - NPO法人隠岐しぜんむら、NPO法人工芸プランふくい 等
- 企業等 (9拠点)
 - サンデンフォレスト、キヤノンテクノパーク、花王エコラボミュージアム 等
- その他 (13拠点)
 - ESDコンソーシアム、国連大学RCE地域拠点 等

③ 関東地方の地域ESD拠点

【12月末現在】全国：125件・内関東：30件

【茨城県】認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ／キヤノンエコテクノパーク

【栃木県】NPO法人工コロジーオンライン／NPO法人栃木県環境カウンセラー協会

【群馬県】チャウス自然体験学校（NPO法人 チャウス）／きりゅう市民活動推進ネットワーク
／サンデンフォレスト（サンデンファシリティ株式会社）

【埼玉県】筑波大学附属坂戸高等学校

【千葉県】特定非営利活動法人環境パートナーシップちば

【東京都】一般社団法人新宿ユネスコ協会／成蹊学園サステナビリティ教育研究センター
立教大学ESD研究所／多摩大学アクティブ・ラーニング支援センター
NPO法人新宿環境活動ネット／聖心女子大学グローバル共生研究所
晃華学園中学校高等学校／一般社団法人ESD TOKYO

【神奈川県】認定NPO法人アクト川崎／NPO法人横浜市民アクト

【新潟県】学校法人日本自然環境専門学校／公益財団法人 鼓童文化財団／新潟市水族館マリンピア日本海
一般社団法人あがのがわ環境学舎／一般社団法人新潟市ユネスコ協会／フォッサマグナミュージアム

【山梨県】公益財団法人キープ協会

【静岡県】特定非営利活動法人アースライフネットワーク／伊豆半島ジオパーク推進協議会・教育部会
一般社団法人自然エネルギー推進機構／公益財団法人 ふじのくに未来財団

③ ESD活動のネットワークの形成機能

地域セミナーin山梨

日時：令和3年3月予定
協力：（公財）キープ協会



写真は昨年度の
模様



地域ESD拠点研修会

日時：令和3年2月予定
：オンライン開催



③ESD活動のネットワークの形成機能

関東ESD推進ネットワーク 第4回 地域フォーラム



【開催概要】

- ・日時：令和3年1月24日（日）13:00～17:00
- ・場所：オンライン（Zoom）
- ・対象：SDGs、ESDにご关心のある行政、NPO、学生（小中高大）、企業の方など
- ・定員：100名



写真は昨年度の
模様

④ 人材育成機能

「企業・事業者がSDGsに取り組む
意義と方法」審査員力量向上研修会
令和2年11月12日（木）
エコアクション21地域事務局
東京中央



「SDGs入門～知りたい
私とSDGsのつながり～」
令和2年11月10日（火）
こくぶんじ市民活動センター・
活動団体向け講座



富士宮市職員向け
「SDGs推進研修」
令和3年1月8日（金）
富士宮市役所・オンライン

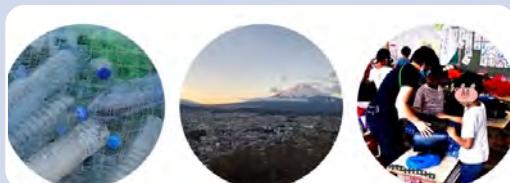
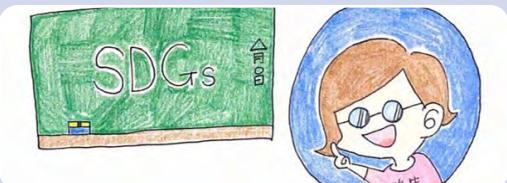


本日の目的

- ・SDGs達成に向けた取り組みは、待ったなし！
 - ・SDGsは、全ての国の全てのセクター、
全ての世代が取り組む、世界の共通の目標
 - ・「ESD for 2030」がスタート！
-
- ・**ユース世代が、**
SDGsをどのように捉え、
どのような課題に気づき、
どのようなアクションを起こしたのか？
- 「SDGs文化祭」に参加した3つの高校生チームが発表

本日の目的

- ・「SDGs文化祭」とは?
目的は? どんなプログラムか? 特徴と成果は?
- ・ユースが取り組んだ課題



SDGsを伝える
取組を広げる

国内の外国人
情報発信

ファッション
生産と消費

本日の目的

- ・分科会では、
ユースの事例発表と実践者の取組みを参考に、
課題を掘り下げ、解決のためにできること、
ユースが、大人が、
地域で、学校で、会社で、団体で、どう取り組むか？
一緒に取り組めることは何か？
を参加者の皆さんと一緒に考えます。

**「ユースと進めるSDGs」を皆さんで考え、
具体的に実践するためのヒントを得る時間にしましょう！**